

## ■ 出演者等の紹介

### 【書道家 武田双雲氏】



1975年熊本生まれ。東京理科大学卒業後、NTTに就職。約3年後に書道家として独立。

NHK大河ドラマ「天地人」や世界遺産「平泉」、世界一のスパコン「京」など数々の題字を手掛ける。独自の世界観で、個展や講演活動を行っている。メディア出演も多数。

主宰する書道教室には約300名の門下生が通う。  
(2005年新規募集締切)

2013年度文化庁から文化交流使に任命され、ベトナム～インドネシアにて書道イベントを開催。また、2015年にはカリフォルニア州にて個展開催など、世界各国で活動する。作品集「たのしか」「絆」や「ポジティブの教科書」(30万部突破)など、著書も多数。

### 【DAISUKE MASK氏】



1978年生まれ。21歳でHIPHOPに出会う。

2003年～2008年、HIPHOPの要素を取り入れたロックバンド「ハッシャ・ダイ」のヴォーカルとして活動。

現在、リクライニング車椅子で横になりながら呼吸器をつけて語る、筋ジストロフィーという障がいのあるリーディングラッパー。絶対的な存在感とシリアスな詩、独特の語りで活動中。

### 【尾張万歳保存会】



国の指定重要無形民俗文化財に指定されている「尾張万歳」は、現在の名古屋市東区矢田町にある長母寺を開いた無住国師が、鎌倉時代の正応年間(1288～1293)に寺男に授けた法華経万歳がはじまりと言われている。これが愛知県内各地に伝えられ、正月の祝福芸として庶民に親しまれてきた。万歳の芸は、扇子を持って祝詞を唱える太夫と、鼓を叩いて合いの手を入れる才蔵とで演じるもので、基本は2人1組。演目によっては、太夫を中心に、左右に才蔵を2人・4人と加えたり、楽器も三味線や胡弓を加えて華やかな舞台芸とすることもある。

## 【写真家 デン真氏】



1966年愛知県常滑市生まれ。1984年愛知県立常滑北高校卒業。1986年東京工芸大学短大部卒業。1995年日本広告写真家協会入会。2013年名古屋セントラルパークにて個展「あつた風土記」開催。2015年名古屋HCLギャラリーにて個展「ふるさと愛知の祭」開催。2015年あいち山車まつり日本一協議会決起集会にて作品展示。2016年中日ビル中日写協ギャラリーにて個展「あいち山車まつり」開催。2016年サミット関連行事 愛知名古屋歓迎レセプションに作品展示。2016年東海東京証券日本橋ギャラリーにて個展「からくり人形と山車祭り」開催。2017年中日新聞社より「日本真ん中山車まつり」出版。2017年名古屋HCLギャラリーにて個展「日本真ん中山車まつり」開催。2017年東海市にて個展「日本真ん中山車まつり」開催。有限会社エヌケーケー代表取締役。学校法人至学館 伊達コミュニケーション研究所客員研究員。公益社団法人日本広告写真家協会正会員。